

社会課題を起点に 価値創造サイクルを推進

MCHCグループの価値創造は、未来を見すえ、MCHCグループとしてめざすべき姿を人、社会、地球の観点から描くことから始まります。加速度的に変化する社会の潮流とステークホルダーの要請を視野に、社会課題を起点に価値創造サイクルを力強く推進しています。これにより、地球環境・社会の持続的発展に貢献するとともに、自らの持続的成長を実現していきます。

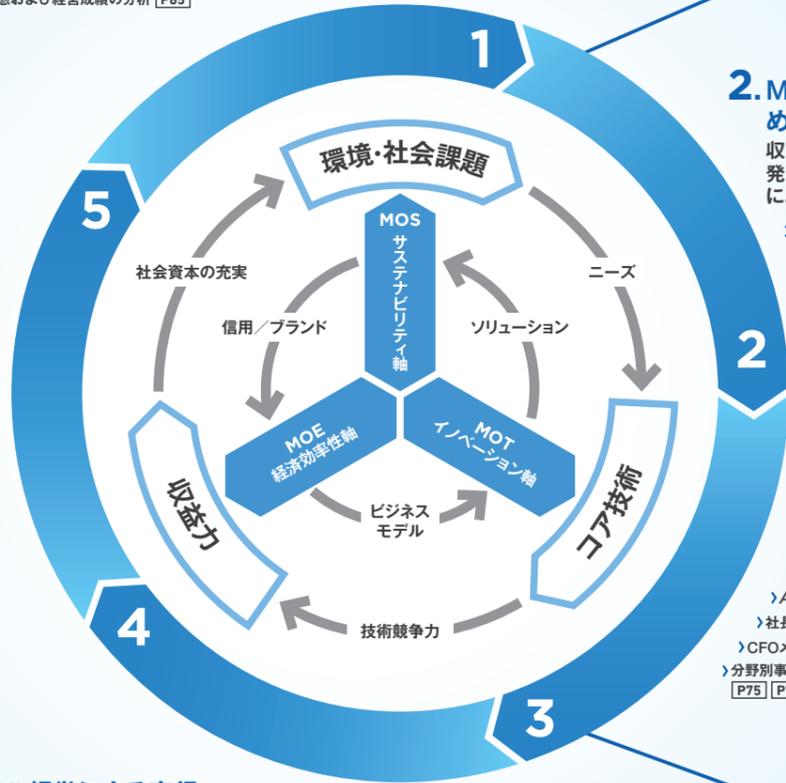
1. マテリアリティ・アセスメント

KAITEKI実現に向けたマテリアリティを選定

- › MCHCグループのマテリアリティ [P13]
- › コーポレートガバナンス [P49]
- › 財政状態および経営成績の分析 [P85]

5. レビュー

- › 社長メッセージ [P19]
- › サステナビリティの進捗 [P41]
- › コーポレートガバナンス [P49]
- › 分野別事業概況 サマリー [P69]
- › 2018年度セグメント別実績 [P71]



2. MCHCグループとして めざすべき姿の追求

収益性の向上、イノベーションの
発揮、サステナビリティへの貢献
により、KAITEKI実現

- › 企業理念・ビジョン [P01]
- › 社長メッセージ [P19]
- › 社長×投資家対談 [P23]
- › CIOメッセージ [P29]
- › CSOメッセージ [P35]
- › 取締役会長メッセージ [P53]

3. 中期経営計画

持続的成長をめざす
KAITEKI経営の観点から、
5年ごとの中期経営計画を
策定・実行

- › APTSIS 20 進捗報告 [P17]
- › 社長メッセージ [P19]
- › CFOメッセージ [P27]
- › 分野別事業概況 方針・主要戦略 [P75] [P79] [P83]

4. KAITEKI 経営による実行

3つの基軸で価値観を共有し、ステークホルダーとともに持続的成長を実現

- › Innovation [P29]
- › Sustainability [P35]
- › 分野別事業概況 [P67]
- › 財務情報 [P85]
- › 非財務情報 [P95]

KAITEKI経営

KAITEKI経営とは、サステナビリティ(MOS)、イノベーション(MOT)、経済効率性(MOE)の3つの基軸を一体的に実践し、企業価値を高めていく経営手法です。環境・社会課題を起点にコア技術を活用することによってソリューションを提供し、事業活動によって創出された経済価値を活用して、新たな価値を創造する成長サイクルを持続的に回しています。

MOS

人と社会と地球の現在、そして未来のために、さまざまな環境・社会課題の解決や、その先にあるより良い未来の創造を志向する経営基軸です。

MOT

新規技術の開発や技術の差異化などを通じて、経済的価値や社会的価値の向上に資するイノベーションの創出をめざす経営基軸です。

MOE

人材、資産、資金などのさまざまな資本を効率的に活用し、利益をはじめとする経済的価値向上を追求する経営基軸です。

さらに先の
未来を
見すえて

サーキュラーエコノミーや
デジタル技術の進展に伴う
産業構造の急激な変化

2030

最適化された循環型社会と
Sustainable Well-being
実現への貢献

さまざまな資源やエネルギーの持続的
利用に向けた再生・循環を基本とする
最適化システム、さらに、人、社会、
そして地球の心地よさがずっと続いて
いくことを可能にする仕組みの構築を
リードしていきます。



地球

気候変動対応と
資源・エネルギーの
効率性向上



社会

・安心安全で
快適な暮らしの実現
・サーキュラー
エコノミーの推進



人

・健康寿命の延伸
・働きがいの充実、
創造性と生産性の向上

関連するSDGs



› KAITEKI Vision 30 [P36]

› KAITEKI協がる [P37]

サステナビリティの進展
デジタル技術の進化、ソーシャル化
人口動態の変化

2020

KAITEKI実現を
けん引する
企業としての基盤確立

機能商品、素材、ヘルスケア分野の
事業を通じて高成長・高収益型の
企業グループをめざす

フォーカス市場

社会課題の解決に向けソリューションを提供



自動車・航空機
(モビリティ)



ヘルスケア



IT・エレクトロニクス・
ディスプレイ



環境・エネルギー



メディカル・フード・
バイオ



パッケージング・
ラベル・フィルム

› MCHCグループのマテリアリティとフォーカス市場の
選定プロセス [P13]

MCHCグループのマテリアリティとフォーカス市場の選定プロセス

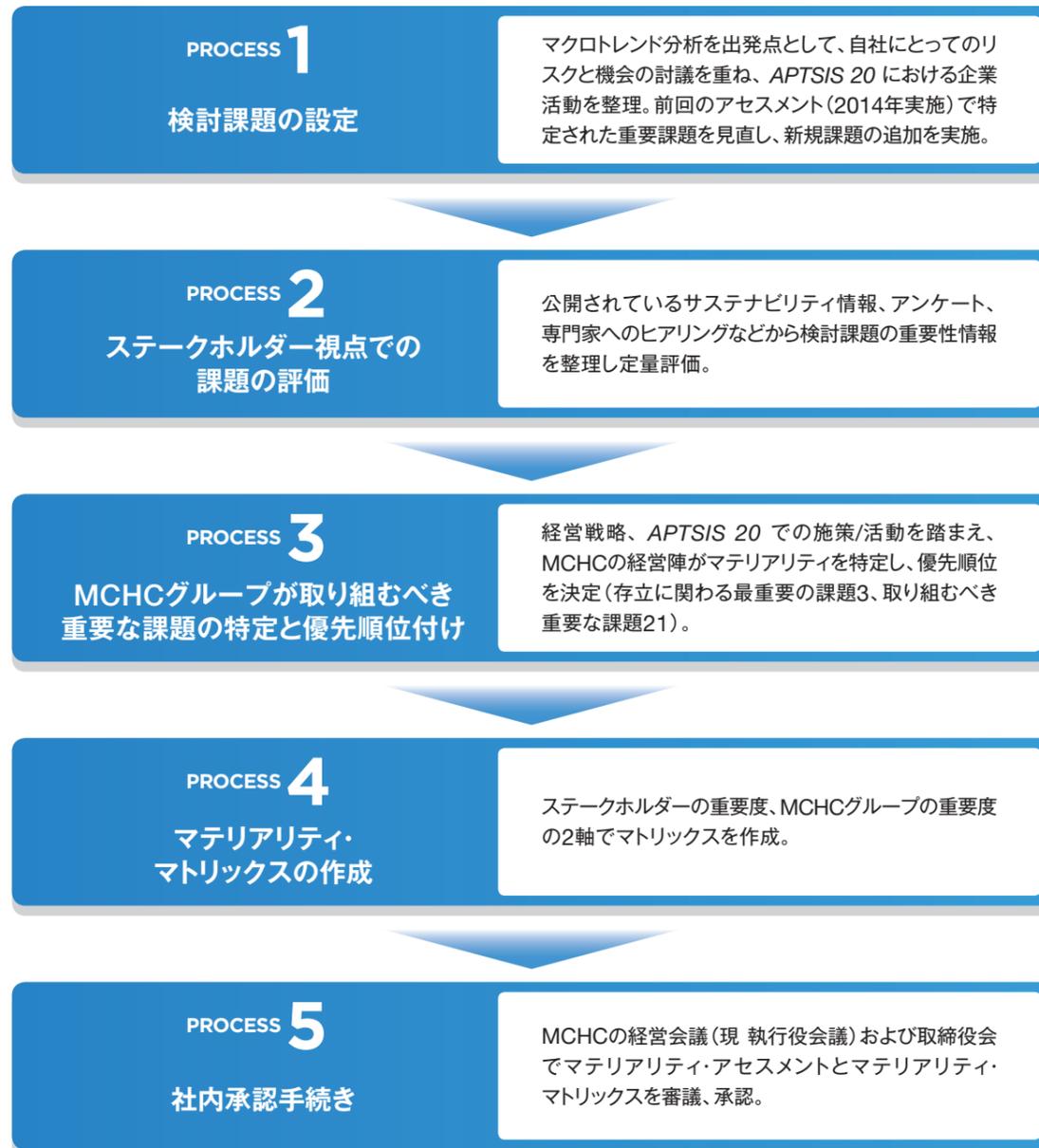
中期経営計画 APTSIS 20 の策定において、マクロトレンドを踏まえ、リスクと機会の討議を重ねながらマテリアリティ・アセスメントを実施し、KAITEKI経営上の重要課題(マテリアリティ)を特定しました。企業活動への影響度を勘案しながら優先順位付けを行い、マテリアリティを中長期的な経営戦略や個々の事業戦略の策定に活用しています。

中でも重要性が高いと位置付けた課題に対して、MCHCグループのイノベーション力を発揮してソリューションを提供

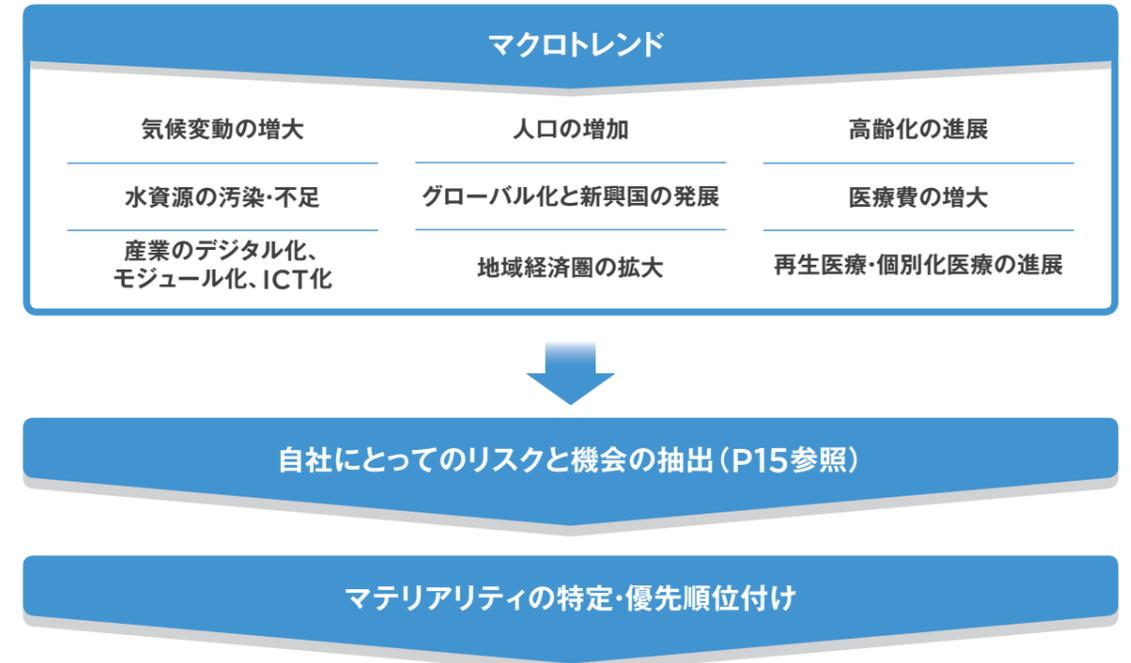
する分野として“フォーカス市場”を選定しました。課題解決に向けて関連するセグメントが強みを活かし協奏しながら、成長戦略を確実に遂行し、持続的成長を図っていきます。

なお、当社グループのマテリアリティへの取り組みを通じて、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)」の達成にも貢献していきます。

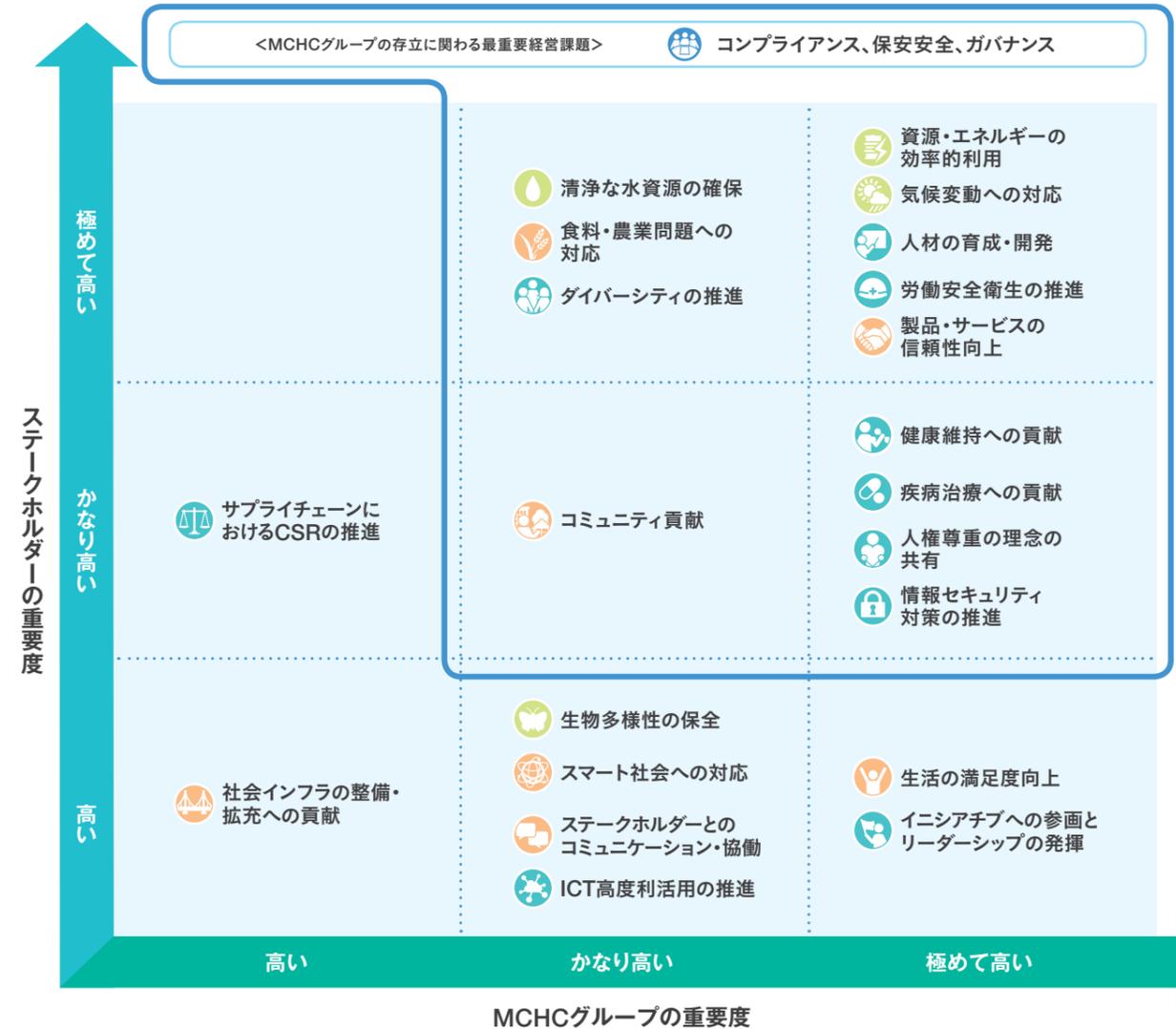
マテリアリティの特定プロセス



マテリアリティの特定



マテリアリティ・マトリックス



マテリアリティの区分

	地球環境に関するマテリアリティ	地球の心地よさの実現に向けて、MCHCグループの企業活動およびイノベーションの創出や製品・サービスの提供を通じて取り組むべき重要な経営課題
	社会システムに関するマテリアリティ	より心地よい社会の実現に向けて、MCHCグループの企業活動およびイノベーションの創出や製品・サービスの提供を通じて取り組むべき重要な経営課題
	企業と組織に関するマテリアリティ	KAITEKI実現をめざす企業グループとして、グループ内の運営や、社会との関わりにおいて取り組むべき重要な経営課題

マテリアリティ	MCHCグループにとってのリスク	MCHCグループにとっての機会	
地球環境	<ul style="list-style-type: none"> 資源・エネルギーの効率的利用 気候変動への対応 清浄な水資源の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 化石資源・希少金属等の天然資源の枯渇 気候変動による異常気象・自然災害リスクの増大 温暖化対策に伴う規制の強化 需要増、気候変動等による水ストレスの拡大 衛生的な水の不足による健康リスクの増大 	<ul style="list-style-type: none"> 資源・エネルギー供給ソースの変容・多様化 再生可能エネルギー実用化、技術開発の加速 気候変動緩和・適応製品の拡販、 ステークホルダーからの中長期的な支持獲得 水の清浄化・再利用化等ビジネスの拡大
社会システム	<ul style="list-style-type: none"> 食料・農業問題への対応 製品・サービスの信頼性向上 コミュニティ貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 需給バランスの悪化による社会の不安定化 品質、安全、環境性能の低下等による 社会的信用の失墜、事業の中断 信頼性の低下による事業活動への影響 	<ul style="list-style-type: none"> 食料の工業生産化の進展 取引先との信頼関係の構築 顧客維持・獲得、ビジネスの拡大 事業展開地域のコミュニティとの 積極的な交流と貢献を通じた信頼関係の構築、 地域社会との共生による事業の安定化
企業と組織	<ul style="list-style-type: none"> 健康維持への貢献 疾病治療への貢献 人材の育成・開発 労働安全衛生の推進 人権尊重の理念の共有 情報セキュリティ対策の推進 ダイバーシティの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病罹患率の増加、死亡率上昇 医療保険システムの破たんリスク増大 医療・健康分野への異業種からの参入拡大 (競争の激化) 労働力不足、人材の流出 物的・人的被害等による生産への影響、 社会的信用の失墜、ハラスメント、長時間労働 人権侵害による事業遅延、事業の中断 情報の漏洩や改ざん等による社会的信用の失墜、 事業の中断、サイバー攻撃による事業の中断 	<ul style="list-style-type: none"> 健康情報サービス市場の拡大 (治療から予防へのシフト) アンメット・メディカル・ニーズの顕在化 ICTによる医療・健康情報のデータ化の進展 優秀な人材の確保・育成 創造性と活力の向上 従業員の健康と安全確保、労働生産性の向上 モチベーションの向上 適切なサプライチェーン・マネジメントの構築 事業活動の安定化 優秀な人材の確保・育成 多様な人材、多様な価値観による 価値創出力の向上

<MCHCグループの存在に関わる最重要経営課題>
コンプライアンス、保安安全、ガバナンス

フォーカス市場の選定

<p>自動車・航空機(モビリティ)</p> <p>自動車・航空機の軽量化、電動化(EV普及)、環境対応(再生可能原料・材料への転換)を通じて、資源・エネルギーの効率的利用と気候変動の緩和に貢献</p>	<p>ヘルスケア</p> <p>アンメット・メディカル・ニーズに対応する医療用医薬品、再生医療製品の開発、健康管理関連サービスの提供を通じて、人々の生命と健康に貢献</p>
<p>IT・エレクトロニクス・ディスプレイ</p> <p>次世代ディスプレイ向け高性能材料、半導体材料等の提供を通じて、スマート社会と生活の快適性向上に貢献</p>	<p>環境・エネルギー</p> <p>リチウムイオン電池材料、水処理関連製品、植物工場、防災・減災製品等の提供を通じて、省エネルギー、水資源の有効利用、農水畜産業の生産性向上、気候変動への適応に貢献</p>
<p>メディカル・フード・バイオ</p> <p>医療部材、製薬材料、食品機能材等の提供を通じて、医療課題の解決や健康維持の増進に貢献</p>	<p>パッケージング・ラベル・フィルム</p> <p>バリア性に優れた食品・医薬品の包装フィルム等の提供を通じて、安全な保管と流通、食品ロスの削減等に貢献</p>

強靱なグループ基盤の構築

ESG(環境・社会・ガバナンス)の取り組み、イノベーション、健康経営、人材育成 等

- >Innovation [P29]
- >Sustainability [P35]
- >コーポレートガバナンス [P49]

中期経営計画
APTSIS 20 の目標

APTSIS 20
P17

フォーカス市場の
成長施策
P67

MOT指標
P32

サステナビリティ
(MOS) 指標
P42

KAITEKI健康経営
のKPI
P46

社会価値
(関連するSDGs)

